



新門様 新裏方様 教区巡回

～僧侶、門信徒ら400人が集う～

発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 杉本 正信

親鸞聖人七五〇回大遠忌のお待ち受け機運の高揚と法要の円成を期し、去る六月二十九日に新門様和歌山教区ご巡回並びに鷺森別院ご巡拝が実施された。

当日は流豆美新裏方様もご同行され、午前十一時に鷺森別院に到着された。境内で鷺森幼稚園園児による太鼓演奏に出迎えられた御二方は、可愛い園児たちの歓迎に笑顔でお応えされていた。

午後二時から四百人の参加者のもと記念式典。続いて随行講師深川宣暢師より記念布教が行われ、参加者と共にご聴聞された。

「ご巡回の集い」では松本教智教区基推委副会長が座長となり話し合いが行われ、ご門徒をはじめ僧侶から活発な意見が出された。新門様は参加者からの熱心な意見を聞かれ、現況の取り組みに感謝の言葉を述べられた。最後には参加者を代表して竹中康夫教区会副議長が決意表明を行った。

その後会場を移し、懇親の場が持たれ、参加者らと交流を深め、全日程を終了した。また、今回は記念式典に先立ち、帰敬式も実施され、二百九十九人のご門徒が新門様よりお剃刀をいただいた。

2009年度

和歌山教区基幹運動計画

1. 目 標

御同朋の社会をめざして

—つれもていこら 御同朋—

2. スローガン

「ともに

いのち

かがやく 世界へ」

—おかげさまで ありがとうございます—

3. 基本方針

「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)は、教団や社会の現状から目をそむけず、み教えに問い聞きながら、同朋教団の再生・御同朋の社会の実現をめざす運動である」ことを体して、教区内に基幹運動の推進をより一層展開し、全員聞法・全員伝道を実現すべく、門信徒・僧侶の一人ひとりが伝道教化活動に取り組もう。

4. 研修テーマ

「いのち きびしく あたたく」
—いのちの尊厳を、御同朋の視点から、そのきびしさとあたたかさとともに学んでいく—

5. 活動方針

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に

6. 重点項目

- ①阿弥陀さま(お仏壇)を中心とした生活を通して、私たち一人ひとりが念仏申す営みを大切に、念仏のこころを次代に家庭に社会に伝えていきましょう。
- ②御同朋・御同行と願われた親鸞聖人の生き方に学び、人権・いのちの尊厳を守る取り組みを進めましょう。(同朋運動)
- ③全員聞法・全員伝道のもと、組やお寺での話し合い法座や文書伝道を実施するなど、創意工夫をこらして、寺院活動の充実を図り、みんなで支える開かれたお寺づくりをしていきたいと思います。(門信徒会運動)

- ①「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」に向けて、教学の研鑽に努め、法要儀式・法式に関する意義を深める。
- ②組基幹運動の推進のため、体制の充実を図っていく。
- ③「念仏者」として、差別と戦争のない社会をめざす同朋運動の推進に取り組む。
- ④次代を担う「人」の育成に向けて、「組活動(基幹運動)推進者の養成」や「キッズサンガ」などに積極的に取り組む。
- ⑤「組連研」をはじめとする門信徒会運動や各種教化団体活動の問題点を共有し、より一層の活性化を図る。

新年度も組基幹運動推進委員会や各専門部会では次の通りの具体的な活動を展開いたします。

組基幹運動推進委員会活動

基幹運動推進の中核としての組基推委の位置づけを明確化し、組の現状に即応した基幹運動の充実と活性化をはかっていきます。

また、組基幹運動計画を通して、

組における基幹運動推進の目標や取り組み、問題点をあきらかにし、一人ひとりが携わっていける体制を整えていきます。

さらに例年通り、「門信徒会運動研修協議会」や「第V期同朋運動推進僧侶研修会(組僧研)」の開催にも精力的に取り組んでいきます。

そして、次代を担う青少年の教化育成の一環として「全寺院『子どもをつどいーキッズサンガ』への取り組みを呼びかけ、実施されるよう働きかけます。

会 長 杉本正信(教務所長)
副会長 松本教智(海南)

顧問 寺本泰宣(加茂)

顧問 蘭田香融(和歌山)
下間信男(和歌山東)
荻野昭裕(海南)
藤範信彦(伊那)
内芝善明(日高)

企画常任委員会

組基推委との連携を常に取っていき、各組での「第V期同朋運動推進僧侶研修会」の開催に向けた事前研修会を開催いたします。

さらに基幹運動推進者(組活動推進者)の養成に向けた連続的な研修会も企画いたします。

例年実施しているブロック別門信徒総研修会や七月九日の「平和を希う念仏者の集い」を開催し、戦争・ヤスクニ・人権・教育・環

境などの現代社会状況対しての問題意識を深め、いのちの尊厳を護る取り組みを進めていきます。
企画常任委員

杉本正信(教務所長)

松本教智(海南)

寺本泰宣(加茂)

藤岡史朗(有賀)

宇多光誠(伊那)

北畠道子(和歌山)

北氏緋紗(和歌山北)

内田 孝(和歌山)

児玉順彦(和歌山)

藤本恵英(伊那)

稲垣貴史(海草)

教学伝道部会(第一専門部会)

この部会では、親鸞聖人の生涯に学び、御同朋の視点に立った教学の研鑽と伝道に向けた取り組みを行います。また、布教団と連携をはかり、住職・僧侶・寺族の資質を高めるために、研修会等への参加の方策を検討していきます。

さらに、『浄土真宗の葬儀・仏壇・納骨ガイド―阿弥陀さまと私』の啓発冊子を活用した活動や、特別法務員を中心とした「勤式振興委員会(仮称)」を設置して、教区の勤式の普及に務めます。

部会長 藤岡史朗(有賀)

副部長 藤岡大祐(伊那)

委員 藤齊真理(和歌山東)

立森秀芳(有田北)

岩崎法明(日高)

湯川逸紀(御坊)

委員

藤齊真理(和歌山東)

立森秀芳(有田北)

岩崎法明(日高)

湯川逸紀(御坊)

同朋部会(第二専門部会)

この部会では、御同朋の社会をめざし、部落差別などの差別の実態から、私と教団の体質を問い、差別の現実・現場を直視し、「信心の社会性」を明らかにするとともに同朋教団の確立をめざす取り組みを行います。

「第V期同朋運動推進僧侶寺院研修会」の実施。同和教育振興会や近畿同朋運動推進協議会(略称・近同推)と連携。

さらに、「同和問題にとりくむ和歌山県宗教団連絡協議会(略称・和歌山県同宗連)」や和歌山人権研究所など同朋運動関連機関への参画に積極的に取り組みます。

部会長 宇多光誠(伊那)

副部長 北畠道子(和歌山)

玉置 澄(和歌山)

北氏緋紗(和歌山北)

中岡俊樹(海南)

荻野益次(日高)

清水正宣(御坊)

北條一穂(紀南)

寺院振興部会(第三専門部会)

この部会では、寺院機能振興を図る上から門徒総代、門徒推進員等と連携をはかり、門徒推進員養成連続研修会(連研)の推進と広報活動の充実につとめます。

まずは、連研の活性化に向け、各組の実情把握や各組連研担当者との協議会などを通して、教区における連研体制づくりに重点的に取り組みます。

また、「教区報編集委員会」では、教区報『まごのもり』を発行します。

部会長 内田 孝(和歌山)

副部長 田中直人(海南)

委員 児玉順彦(和歌山)

森 真隆(和歌山東)

中谷真澄(和歌山西)

脇坂元信(和歌山西)

貴志幸子(和歌山西)

荻野行一(加茂)

藤本恵英(伊那)

西村真一(有田南)

山本 如(日高)

組織教化部会(第4専門部会)

この部会では、門信徒、僧侶の一人ひとりが共に手を携え、課題を共有し、念仏者として基幹運動の充実を図り、さらに将来を担う人の育成に取り組みます。

キッズサンガをすすめる会

次代を担う青少年の教化育成、「全寺院『子どものつどいーキッズサンガ』へ取り組みを活発にしていけます。

各教化団体や関連団体の状況把握を行い、将来における教区教化組織体制の確立に向けた研究を行います。

寺院青年会連盟との連携により寺院子弟研修会を開催。少年連盟とキッズサンガをすすめる会との連携による子ども会活動の推進に取り組んでいきます。さらに仏教壮年会や門信徒会の開設の呼びかけ、各団体との連携と協力のもと社推協・ビハーラ活動に積極的に関わっていきます。

部会長 稲垣貴史(海草)

副部長 藤本使朗(日高)

委員 佐々木祐行(和歌山)

垣内史子(和歌山西)

笠井博量(加茂)

赤阪紀子(加茂)

小島由美子(加茂)

谷口寿博(加茂)

有沢晃暁(伊那)

細谷廣延(日高)

各教化団体で総会・研修会開催
寺婦・仏婦新役員が決まる

鷺森別院の二尊会に併せ五月十三日には仏壯連盟・十四日には寺婦連盟・十五日には門徒総代会・十六日には仏婦連盟がそれぞれ総会・研修会を開催した。

各団体とも午前中に総会・研修会を開催し、午後は二尊会に参拝した。

午前の総会では予・決算報告があり、今回役員改選となった寺婦・仏婦連盟では新役員が選出され、寺婦連盟委員長には和歌山西組西勝寺の垣内史子さん、副委員長には伊那組光明寺宇多純子さんと有賀組照円寺笠井喜代子さんが就任した。また仏婦連盟では前委員長加茂組真教寺の赤阪紀子さんが再任され、新たに鷺森別院婦人会・若さぎ会所属で和歌山組委員の島村美穂さんと和歌山東組蓮光寺の東岡百合子さんが副委員長に決まり承認された。

研修会では、仏婦総連盟講師の嘉屋英嗣師より「大智なるが故に生死に住せず 大悲なるが故に涅槃に住せず」―学びそして行動へ―と題し、教団の基幹運動

の歩みを振り返りながら、一昨年新たに制定された教章(私の歩む道)のお心を体し、「浄土真宗のご法義にのつとた生活を送っていただきたい」と話された。

午後からは二尊会に参拝し、同講師よりの法話を聴聞した。

二〇一〇年
全国真宗青年の集い
近畿担当で開催決まる

今年度近畿ブロック仏教青年連盟連絡協議会が滋賀教区担当のもと六月六日・翌七日に八幡別院を会場に開催され、和歌山から三人の役員担当者が出席した。協議会では二〇一〇年に近畿六教区が担当となり開催する「全国真宗青年の集い 近畿大会 in 神戸」について協議がなされ、今までの大会は、担当教区となる一教区が全てを担って来たが、次期大会では、近畿六教区が中心となり役割を分担し、協力して開催することとなった。これまでに決まったことは左記の通りです。

和歌山教区も寺青、仏青が一丸となって盛りあげていきます。是非、ご協力並びにご参加をよ

ろしく願います。

期日 二〇一〇(平成二十二年)八月六日(金)〜七日(土)

会場 本願寺神戸別院

神戸ポートピアホテル

平和を希う念仏者の集い
追悼法要に四〇〇人が参拝

今年で第十六回目となった「平和を希う念仏者の集い―全戦没者追悼法要―」が、去る七月九日に鷺森別院で開催され、四百人が参拝した。

追悼法要では各組仏教婦人会委員による献灯・献華の後、各組代表法中出勤のもと正信念仏偈が勤まった。引き続きかりようびんが鷺森によるコーラスと昨年を引き続き武蔵野大学教授の山崎龍明師の記念講演が行われた。

講演では「親鸞聖人に学ぶ戦争と差別」と題し、人を殺さない、またはそういう社会をつくらない、阿弥陀仏の智慧をものさしとして、念仏の真実の中に生きていくことの大切さについて話された。

児童総勢80人が参加

今年も本山で児童念仏奉仕団が実施され、和歌山教区からも七月二十二日〜二十三日に一泊二日の日程で総勢八十人(児童五十九人、引率・スタッフ二十一人)、大型バス二台で参加した。



行きの車中では恒例の到着時間当てクイズやなどを楽しんだ。また、この日は車窓から日食を観察することが出来、子どもたちは「見えた、見えた、」と大歓声。最初は緊張していた子どもたちも、一気に打ち解けた。

本願寺到着後は、新しくなった御影堂で清掃奉仕を行い、書院・

飛雲閣など境内地を探検したり、法話を聴聞した。また夜には京都タワーに登り古都の町並を一望した。

二日目は五時半に起床、お昼朝に参拝し、眠い目をこすりながら正信偈をお勤めした。百華苑の清掃や普段は許されない御影堂でのレクリエーションゲームに元気いっぱい駆け回った。それとは一転し、少し緊張した面もちで臨んだご門主との記念撮影・ご面接。閉会式では感謝状をいただき、二日間盛りだくさんな日程を終えた。帰りには、梅小路蒸気機関車館でSLスチーム号に乗車し、思い出をまた一つ増やした。二日間で友情を深めた子どもたちは、来年の再開を約束し、楽しい夏のひと時に大満足だった。

門信徒総研修会

毎年恒例のブロック別門信徒総研修会が「いのち きびしく あたたかく」をテーマに下記日程の通り各ブロックで開催されますので、お誘い合わせご参加くださいますようよろしくお願い致します。

記

●第一ブロック(和歌山組担当)

日時 九月五日(土)

午後一時半から四時まで

会場 鷺森別院 本堂

講師 大西耕雲師

講題 「親鸞さまと歩む道」

―現生正定聚を生きる―

●第二ブロック(有賀組担当)

日時 九月十二日(土)

午後一時半から四時まで

会場 紀美野町総合福祉センター

講師 武田達城師

講題 「親鸞聖人の姿勢に学ぶ」

●第三ブロック(御坊組担当)

日時 九月五日(土)

午後一時半から四時まで

会場 日高別院

講師 大島信隆師

講題 「世の中安穩なれ」

―ともにいのちかがやく 世界へ―

布教団連続法座

まだまだ受講者を募集中

今年度布教団では、鷺森別院に天岸淨圓先生を迎え、親鸞聖人の御消息について連続法座(年六回)

を開催しています。現在二回を終え、次回第三回目を九月九日(水)に開催します。参加費は一回三〇〇〇円で、どなたでもご参加いただけます。

※開始時間の変更となりました。午後七時二十分から 九時三十分頃まで

社推協 寺院における

社会福祉について研修

和歌山教区社会福祉推進協議会和歌山支部では、九月二十五日(金)午後二時から鷺森別院に於いて研修会を開催する。今回は昨年宗門が設立した、特定非営利活動法人JIPPO(十方)の専務理事で龍谷大学名誉教授の中村尚司師を講師に迎え、「寺院における社会福祉活動」をテーマに、今後の寺院活動の可能性を社会福祉活動の視点から学ぼうと開催される。参加費は無料、どなたでもご参加いただけます。

鷺森別院婦人会主催 大谷本願大遠忌法要に参拝団 参加者募集

本山に先立ち十月十二日から十六日に大谷本願で親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が厳修されます。このご縁に遇おうと、この度婦人会が主催して法要初日の十二日(月・祝日)にバスで団体参拝を行います。参加費はお一人、九、〇〇〇円。詳細、お申し込みは別院(川瀬)まで。

得度

栗本淳子 和歌山西組 長徳寺
長田義久 和歌山西組 西勝寺
廣田聡美 和歌山西組 安楽寺
上西幸治 日高組 念興寺
木下幸人 紀南組 満願寺

教師

釘貫 順 和歌山組 西光寺
小野修司 和歌山組 善称寺
岡村周善 海南組 遍照寺
岡本典子 有田北組 蓮光寺
佐々木恵信 紀南組 長徳寺

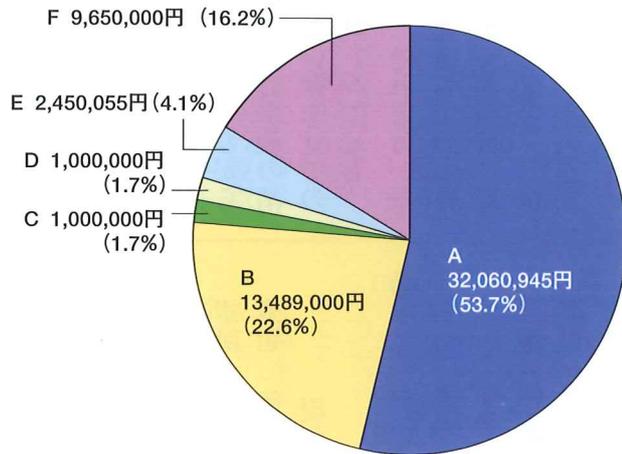
逝去

片桐キクエ 日高組 円行寺
前坊守衆徒 平成二十一年四月十九日
松本静観 和歌山東組 正善寺
衆徒 平成二十一年五月十六日
西岡美恵子 和歌山東組 蓮光寺
前坊守 平成二十一年五月十九日

2009(平成21)年度和歌山教区一般会計歳計予算

(自：平成21年4月1日～至：平成22年3月31日)

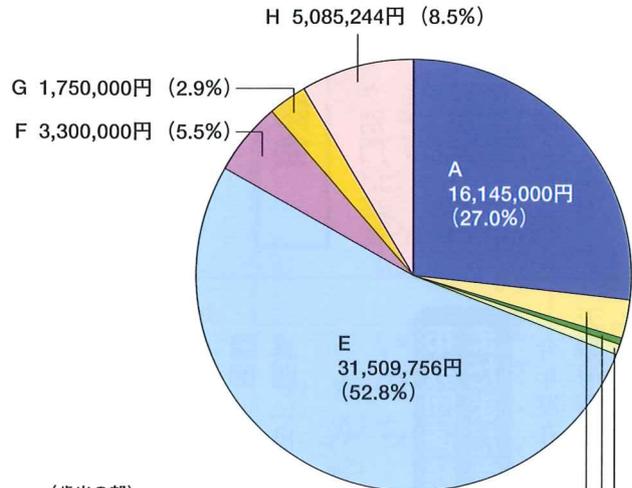
歳入の部 59,650,000円



(歳入の部)

A…教区賦課金	32,060,945円
B…宗派交付金	13,489,000円
C…願記手数料	1,000,000円
D…回金	1,000,000円
E…雑収入	2,450,055円
F…繰越金	9,650,000円
合 計	59,650,000円

歳出の部 59,650,000円



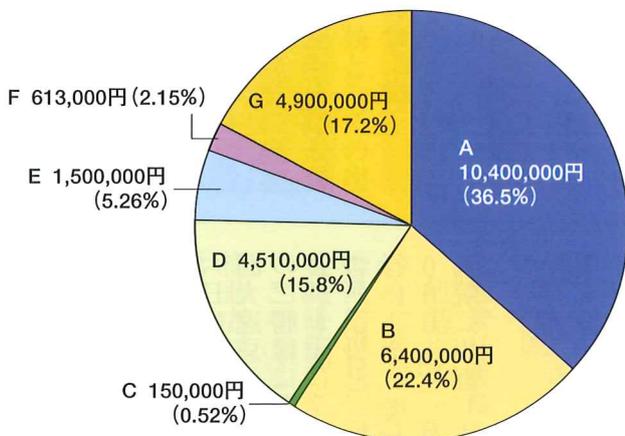
(歳出の部)

A…基幹運動推進費	16,145,000円
B…会議費	1,780,000円
C…宗会選挙事務費	30,000円
D…教区法要事務所費	50,000円
E…教務所費	31,509,756円
F…維持費	3,300,000円
G…回金	1,750,000円
H…予備費	5,085,244円
合 計	59,650,000円

2009(平成21)年度本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

(自：平成21年4月1日～至：平成22年3月31日)

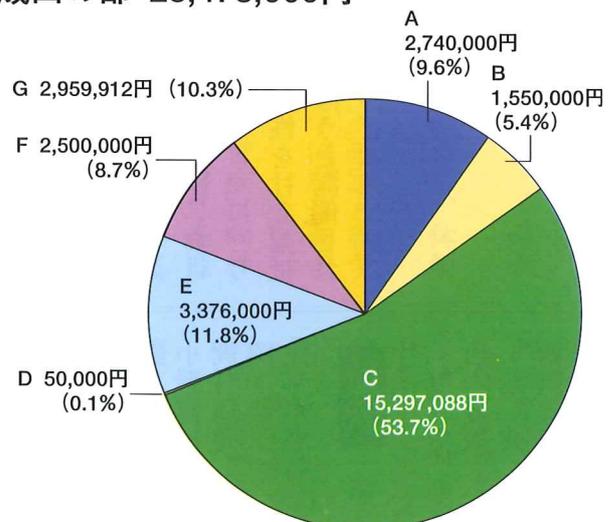
歳入の部 28,473,000円



(歳入の部)

A…懇志	10,400,000円
B…回金	6,400,000円
C…本山交付金	150,000円
D…維持費	4,510,000円
E…負担金	1,500,000円
F…雑収入	613,000円
G…前年度繰越金	4,900,000円
合 計	28,473,000円

歳出の部 28,473,000円



(歳出の部)

A…法務費	2,740,000円
B…教化費	1,550,000円
C…事務費	15,297,088円
D…会議費	50,000円
E…維持費	3,376,000円
F…積立金	2,500,000円
G…予備費	2,959,912円
合 計	28,473,000円